

2021年2月15日(月)

老球の細道593号

偉大なコーチ山崎先生の思い出〈PART18〉

会津バスケットボール協会 室井 富仁

米国大学バスケットボール界で「コーチ・オブ・ザ・イヤー」を受賞したキャシー・ベネットを驚嘆させた「鶴鳴モーションオフense」は私にとっても驚くべきものだった。ボールが止まらない、人の動きが止まらないで連続して攻撃をしかける。当時全国のコーチが求めていたオフenseだった。このオフenseを勉強しようと1996年山崎先生を会津に招聘して講習会を開催したが、私の力量不足で理解できなかったのは残念だった。

しかし、後に数々の研鑽を踏むことで原理原則が整理でき、自分なりのアレンジが可能になり、オリジナリティのヒントを得ることができた。要はバスケットボール哲学の確立、オフenseの全体像、そしてチームルールと原則を決める。決まったら修正、補足をしながら、自分が描いた完成図を求めて、あきらめないで、ただひたすら反復練習あるのみである。

山崎先生の著書『大野慎子物語』の中に鶴鳴モーションの概略が掲載されている。非常にシンプルに整理されているが、これをコートで忠実に表現させるには至難の業である。

#### I・バスケットボール競技のとらえ方

- ①バスケットボールは暗記型ではなく、対応型のスポーツである。
- ②オフenseが未熟では何も進まない。
- ③うまくやることよりも、うまくいかない時の切り抜け方を知ることの方が大切である。
- ④技術そのものは未熟でも、使える場面と使えない場面を知っていれば大丈夫。
- ⑤オフenseのダミーデイフェンスをするだけでデイフェンス能力は向上する。
- ⑥練習も試合も競技規則に従うことが大切である。

#### II・練習が成立する3条件

- ①指導者がはっきりと完成図を頭に描く。
- ②プレイを成功させるためのルールを作る。
- ③そのために必要なドリルを整理する。

#### III・オフenseを成功させるためのルール

##### ①オープナー(エントリー)

ボールを進めてフロントコートに入る時、無造作に入ってはいけない。必ずボールをスイングする(パスを使ってデイフェンスをゆさぶる)、か、人がクロスする(平行に走らないで交差しながら走る)か、ボールをスライド(まっすぐ縦にドリブルして進むのではなく、少し横にずれながら)させる。デイフェンスに的を絞らせないため。

##### ②システム

マンツーマンオフenseもゾーンオフenseもモーションオフenseである。パッシングとムービングを主体にする。動きは原則的な約束事だけを定め、仕掛けた選手の動きに対応して次の選手が動きを選択していく。

〈続く〉